

# 黒鍵



[黒鍵\\_下载链接1](#)

著者:桑原水菜

出版者:集英社

出版时间:2004-7-1

装帧:文庫

isbn:9784086004404

## 出版社/著者からの内容紹介

榛原と響生、二人の出会いの原点がここに！  
新進作家としてデビューした学生時代の連城響生。榛原憂月の舞台に出会い、その世界に熱狂する。気がつけば自らの作品も影響を受け、榛原の模倣者の烙印が…。「赤の神紋」サイドストーリー！

## 内容（「BOOK」データベースより）

大学在学中にデビューした新進作家の連城響生。味のある作風を評価されていたが自分の殻を破れない。運命に導かれるように出会った劇作家榛原憂月の舞台が響生を変えてゆく。榛原の世界に熱狂し翻弄される響生。自らの作風も変わり気がつくとう榛原の模倣作家に…。絶望の淵に落ちた響生は友人奥田の励ましで戯曲を書き始める。若き日の響生の姿、原点を描く「赤の神紋」サイドストーリー。

## 作者介绍:

## 著者略歴 (「BOOK著者紹介情報」より)

桑原 水菜

9月23日千葉県生まれ。中央大学文学部史学科卒業。1989年下期コバルト読者大賞を受賞(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)

## 目录:

[黒鍵 下载链接1](#)

## 标签

桑原水菜

小说

大爱

赤の神紋

艺术

耽美

絆王道

日本小说

评论

常常想为了《赤之神纹》把看过的绝大多数小说下调一星……青涩的连城那种倔强真真太可爱了！奥田也真是太棒了，有这样的朋友，就算连城后来没有碰见萤应该也不会出什么问题吧；不过那就是另一个故事了。哎，总之，连城我爱你！

-----  
有段时间了才发现没改过去=0=。。。这部比想象的短小但是精悍的一塌糊涂。果然那些不一样的人们从一开始就是不同的。好喜欢那个不断挑战着的响生。

-----  
[黒鍵\\_下载链接1](#)

书评

-----  
[黒鍵\\_下载链接1](#)